

2022 年度小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 21 日作成)

小委員会名	海洋エネルギー支援建築小委員会	主 査 名： 恵藤浩朗 就任年月： 2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	海洋建築委員会	委員長名： 桜井慎一
設 置 期 間	2022 年 4 月 ~ 2026 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>海洋には、風力・波力・潮力・温度差・太陽等のクリーンで尽きることのない自然エネルギーが広く分布しており、持続可能な社会の実現に適応する新エネルギー及び再生可能エネルギー・資源開発の需要は益々高まると予想される。そこで様々な海洋開発施設やそれらを支援する施設を巡る動向、新技術などに関する調査、研究を目的として本委員会を設置する。</p> <p>初年度：新エネルギーおよび再生可能エネルギー・資源開発などの海洋開発施設の動向および最新技術に関する調査、各種開発施設に関するデータを収集</p> <p>2 年度：初年度の活動を継続、得られた調査結果の整理、現状の課題の抽出</p> <p>3 年度：関連分野の諸機関と連携し、持続可能な海洋開発を実現する海洋エネルギー・資源開発施設のあり方について検討</p> <p>4 年度：小委員会の活動内容を総括し、シンポジウムなどを開催し成果を公表</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無： 有	
	主査： 恵藤浩朗 (日本大学) 幹事： 寺口敬秀 (日本大学) 委員： 居駒知樹 (日本大学), 金子雅彦 (東京海上ディーアール), 佐々木仁 (アラップ), 野口憲一 (近代建築保存技術研究室), 藤田謙一 (長崎総合科学大学), 増田光一 (日本大学), 増田光弘 (東京海洋大学), 矢代晴実 (防衛大学校)	
設置 WG (WG 名： 目的)		
2022 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無： 無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む), 幹事会 3 回
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 北海油田で使用するアコモデーションリグ「FLOATEL POLYCONFIDENCE」について、設計を担当した佐藤氏 (元三井造船) による講演を実施 2. セミサブリグでの居住環境や実際に生活して感じたことについて、元日本海洋掘削の寺口幹事による講演
委員会活動の問題点・課題	1. 調査対象が多岐にわたるため、どのように収集したデータから体系的に取りまとめるかが課題